

○防災教育チャレンジプランとは

いつやってくるかわからない災害に備え、大切な命を守り、できるだけ被害を減らし、万が一被害にあったときすぐに立ち直る力を一人一人が身に付けるため、全国の地域や学校で防災教育を推進する為のプランです。

主催：防災教育チャレンジプラン実行委員会・内閣府（防災担当）

<http://www.bosai-study.net/top.html>（防災教育チャレンジプランHPアドレス）

第1弾 2011年度防災教育チャレンジプランへの応募へ向けて

0. 応募までの経緯

- (1) 10月末、市教委から校長へ「防災教育チャレンジプラン2011」の紹介があり、学校及び教職員を取り巻く様々な要因を考慮し、応募する方向で段取りを始める。
- (2) 糸魚川市教育委員会及び糸魚川市消防本部、根知振興協議会会長へ応募の意向を相談し、同意及び協力をお願いする。
- (3) 12月中旬の応募締切に向けて、応募書類（予算を含めた取組計画の立案）を作成するために、地域を巡見したり、関係機関の職員と打ち合わせを行ったりしながら情報収集に奔走する。
根知公民館 糸魚川市産業部商工農林水産課 小田島建設 猪又建設 渡邊酒造
- (4) 取組計画案（以下の1～7）について、職員会議で職員の理解を得た上、糸魚川市教育委員会及び糸魚川市消防本部から意見をもらい計画案を修正し応募した。

1. なぜ防災教育チャレンジプランに応募するのか

- (0) フォッサマグナパークをはじめ、根知谷、雨飾山・しろ池、姫川溪谷などのジオパークは、根知の今昔を考え、これからの生活や生き方を考える上で重要な教材であり、現在も総合的な学習として取り組んでいる。2008年のユネスコ国際ジオパーク会議の採択宣言に「地質災害に関して社会と知識を共有するためにジオパークが役に立つ」という趣旨の一文が加えられた。糸魚川市は、多種多様な地質と複雑な地質構造をもつことなどから、古来より地すべり、崩落、土石流、地震・火山災害、雪崩などの地質災害が多い。糸魚川ジオパークの学習過程は、まさに大地の成り立ちや自然災害を学ぶことであり、その学ぶ過程は、私たちの生命と財産を守るための防災意識を高めていく絶好の機会である。
- (1) 防災・ジオパークの学習を進めるための予算が30万円を上限として配当され、専門家の話をきくための講師謝礼や交通・宿泊費をここから捻出することができ、これまで以上に大胆な活動を展開することができる。
- (2) 地域と一緒にになって取り組める（取り組まなければならない）活動となるため、校長の学校経営方針（地域とともに生きる）とも一致し、学校教育目標の具現化の一助になると考える。

2. 防災教育チャレンジプラン推進の基本方針

- (0) 児童や地域、教員にとって有益な活動になるようにし、多忙化に拍車をかける取組としない。
- (1) 現行の教育活動を防災教育の視点で見直し、体系化しながら関連するそれぞれの活動を再構成する。

3. 学区におけるジオサイトと自然災害の現状（図中☆印は、根知小学校の所在地）



(1) ジオサイト

①フォッサマグナパーク（系魚川-静岡構造線・枕状溶岩・塩の道）【サイト6】【サイト12】

系魚川-静岡構造線断層帯に起因する地震について、政府の特別機関・地震調査研究推進本部地震調査委員会は、以下に示す地震発生確率を公表しています。他と比べて群抜いて高い確率。

予想される地震規模	M8程度		
地震発生確率	30年：14%	50年：23%	100年：41%
本断層帯は、今後30年の間に地震が発生する可能性が、わが国の主な活断層の中では高いグループに属する。			

②姫川溪谷【サイト11】【サイト13】

7. 11水害に代表される水害（土石流）

③小滝ヒスイ峡【サイト9】

④小蓮華山（氷河地形）【サイト14】

⑤雨飾山・しろ池の森【サイト19】

(2) 自然災害

①姫川・根知川の氾濫・土石流

7. 11水害で壊れた稲荷頭首工（姫川）が22年度に完成（アユの放流を根知小児童が行った）
 根知川上流（中股川）の砂防工事（5年生の理科の学習内容として見学）

②地滑り（シーサイドバレースキー場脇 蒲池の地盤の移動 道路に段差が見られる）

③ナラ枯れ被害

シーサイドバレースキー場付近のナラ枯れ被害が甚大（他と比べて赤く枯れている木の量が多い）。
 カシノナガキクイムシ（カシナガ）を起因とする樹木枯損（ナラ枯れ）は、昔から被害が単発的に

発生していたが、1980年代に入り日本海側で被害が集団的に発生するなど、各地で被害が拡大している。

④熊・猪・猿の出没

22年度は、11月17日現在で、市教委が把握した根知地区の熊の目撃情報だけで10件（延べ15頭）、公民館情報では（11月19日現在で）、18頭が捕獲されている。

(3) 災害対策

①根知川上流の砂防工事 雨飾山荘付近：小田島建設 中股川：猪又建設

②治山事業（里山の手入れ） 杉の間伐

③土砂災害ハザードマップの作成と全戸配布

※基本的に根知谷は土石流、崖崩れ、地滑り地帯に覆われている上、冬季は雪深い。こうした、危険性の認識が薄いため、市は土砂災害ハザードマップを作成し、意識を高めようとした。

4. 防災にかかわる現状（2010年まで）

(1) 小学校

①年4回（火災、不審者、地震、地震火災）の避難訓練の実施

②熊被害回避のための臨時スクールバス、熊出没注意の安全マップの作成

(2) 地域

今年度市主催の地域防災訓練を根知地区全体で実施、23年度以降は地区独自の防災訓練を検討している。

5. 2011年度（23年度）の生活科・総合的な学習の時間の内容（これまでの流れでは）

(1) 生活科の指導では、児童の活動意欲を高めるため、児童の興味・関心を発揮させながら自分と他とのかかわりを大切にし、ものごとを見つめる活動を行う。

1年…花の栽培，生き物の飼育，地域の施設の探検，地域における自然体験

2年…野菜の栽培，生き物の飼育，地域の施設の探検

(2) 総合的な学習の時間では、地域素材を生かす内容に焦点を当て、ふるさとの自然と文化、福祉と農業を中心に隔年で活動を構成していく。また、年間を通して音楽活動、外国語活動、ボランティア活動に取り組む。

3・4年…根知の文化を探ろう（地域の文化や伝統について学び親しむ活動を通して、地域の一員として自分にできること、自分の生き方について考えていく。）

5・6年…根知の農業を考えよう（米作り活動を通して、生産者の喜びや苦勞を知り、地域の活性化のためにできることを考え提案していく。）

6. 防災教育チャレンジプランの過去の実践例

- 避難訓練（父母への引き渡し）
- 避難所体験（炊き出し・防災グッズ・避難所生活）
- 地震・火山噴火・津波等のメカニズムについての講和
- 防災ミュージカル・劇・紙芝居・カルタ
- 救急法・訓練
- 防災センターの見学
- 運動会種目「バケツリレー」「障害物レース」
- 被災者の体験講話
- 防災情報ネットワークの構築
- 地域探検と安全マップ
- 義援金集めと励ましの手紙
- 慰霊祭への参加
- 避難経路の誘導表示の作成
- 防災クッキング（非常食を用いた調理・防災料理コンテスト）

7. 考えられる根知小の活動例

キーワード「フォッサマグナと地震」「根知谷と土石流（地滑り）」「根知谷・里山と米・酒造り」

領域		主な内容	
		23年度（25年度）	24年度（26年度）
A 教科 等	5・6 年総合	<ul style="list-style-type: none"> ○根知で「やるまいか農業～食・住の生活を守る～」 根知の主要産業である農業を考える（守り発展させるために） ○nechi2008（男山）IWC 純米吟醸酒・純米大吟醸酒部門 最優秀賞受賞酒の社長による酒造りと米・ブナ林（里山）の関係 ○里山の現地調査（ナラ枯れ被害、地滑りの危険性） 小田島建設 糸魚川地域振興局 ○根知の農業事情 小田島建設 やる米花農業 ○土砂災害を防ぐ砂防工事 小田島建設 猪又建設 ○田植え、水の管理、稲刈り体験 余った苗でバケツ稲 ○里山再生 商工農林水産課管理係 ※修学旅行＋1泊で里山再生プロジェクトに取り組む 宇津木の森（東京都八王子市）へ（交通費と宿泊費はこのプロジェクトから捻出） ○しろ池の森間伐体験 ○しろ池 200年の水利権争い 	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア 防災は隣近所・地域のコミュニケーションが重要といわれている。ボランティアの輪を地域に広げることで緊急時に迅速な対応ができるようになる。
	3・4 年総合	<ul style="list-style-type: none"> ○郷土の文化・芸能 おててこ舞（日吉神社祭礼）・十二社奉納相撲：五穀豊穡祈願 五穀豊穡＝治山治水＝・・・防災 秋葉神社：火災除け 水神様：水難除け 	<ul style="list-style-type: none"> ○ジオパーク学習 ○ファッサマグナのメカニズム ・フォッサマグナパーク、雨飾山・しろ池、塩の道など
	1・2 年生活	<ul style="list-style-type: none"> ○サツマイモの栽培と非常食としての備蓄 ○地域探検→安全マップの作成→PTA安全指導部（注意看板の検討） 	<ul style="list-style-type: none"> ○親を亡くしたウリ坊または小熊の飼育 飼うか飼わないか・大きくなったら山に逃がすか・・・命の教育
	5・6 年理科	<ul style="list-style-type: none"> ○大地のつくり 山寺地内・フォッサマグナパークの地層観察 地震・火山のはたらきと大地の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ○流れる水の働き 水害・水害対策
B 行事 等	宿泊体 験学習	X：サバイバル体験（森小屋づくりと電気のない生活） 妙高少年自然の家キャンプサイト 立ち木を柱として小屋を作る	Y：歩荷茶屋を用いた宿泊 Zの避難所体験を生かした宿泊
	避難訓 練	○従来の避難訓練＋体験活動 or 専門家・被災体験者のお話など ①地震 ②火災 ③防犯・熊 ④地震・火災	○従来の避難訓練＋体験活動 or 専門家・被災体験者のお話など ①地震 ②火災 ③防犯・熊 ④地震・火災
C そ の 他	児童会	○緑の羽根共同募金・赤い羽根共同募金の意義について ○被災地への義援金集め	○緑の羽根共同募金・赤い羽根共同募金の意義について ○被災地への義援金集め
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ※地域防災組織の立ち上げ これとBのZ（避難所体験）は連動 ○避難所生活体験者及び避難所運営体験者を招いた研修会 ○避難所に必要な物品の整備 不要になった毛布の寄付依頼、非常食の備蓄 ○情報ネットワークの整備 メール配信を用いた緊急連絡通知 	<ul style="list-style-type: none"> Z：避難所体験（学校での電気のない宿泊、炊き出し体験）＋地域防災訓練との連携（大雨による土砂災害 or 地震） 被災体験者、避難所運営者のお話 ※PTC行事または地域行事として実施 週休日または夏休み中